

にしみや幸一 ホツとレポート・府中

府中市政報告



環境

参加

Think

No.25 2015年7月10日発行

市立幼稚園施設 将来のあり方をどうすべきか

～平成27年6月議会の議論をもとに考える～

さる6月5日～22日に、改選後初の定例会となる平成27年第2回府中市議会定例会(6月議会)が開催され、5つの市長提出議案が可決されたほか、国政の動きに絡んだいくつかの意見書も審議されました。定例議会に先立って5月下旬に開かれた「委員協議会」でも、議決対象とならない各種の案件が審議されました。

にしみや幸一は、本年の市議会では副議長職に加え、文教委員を務めています。文教委員会の所管事項としては、市立幼稚園の廃止方針が報告・了承となりました。

平成30～34年に市立幼稚園が廃園

府中市の市立幼稚園は、矢崎・みどり・小柳と3園あり、いずれも1970年代の半ばまでに建てられた古い建物です。入園者数も低下傾向となっており、定員に対する割合は、平成27年度の3園平均で61.9%にとどまっています。

こうした背景から打ち出された市立幼稚園の廃園時期は、矢崎が平成30年度末、小柳32年度末、みどり34年度末となっています。

「新制度」で公立幼稚園は曲がり角

平成27年4月に、国は「子ども・子育て支援新制度」をスタートさせました。

この制度では、3歳以上のお子さんが「1号認定」を受けると、幼稚園または認定こども園への申し込みが可能となります。ただし保育料は、公営か民営かを問わず同じ料金体系に基づき、所得に応じた算定方法となります。

つまり、現在の府中市立幼稚園のように、保育料を、定額かつ比較的 low 料金で設定する方式は、制度上維持できなくなります。

さらに府中市は、都内23区と違い、幼稚園の大半がもともと私立です。このように、公立幼稚園の存在意義が大きな曲がり角にさしかかっている点も、市立幼稚園廃止を検討せざるを得ない要因になっています。

発達支援拡充へ市立園施設の活用を

今後は、保育・養育方法に関する親・家庭のニーズの多様化に対応した子育てシステムが、ますます求められてきます。

そうした観点から、廃園後の市立幼稚園の施設や敷地をどう有効活用するかが問われます。

考えられる活用策は2つです。一つは、市内にまだない認定こども園の整備に役立てることです。

また府中市には、発達に遅れや偏りのある就学前の子どもたちを対象に、発達相談や通園指導などを行う場として「子ども発達支援センター あゆの子」があります。しかし、支援体制や内容を充実させる必要があるのではないかと、かねてから指摘されています。

府中市議会市民フォーラムでは、所属されていた山上みのる前議員などが、この点を強く主張してきた経緯があります。にしみや幸一は、市立幼稚園施設を児童発達の支援センター機能へ転換させる案について検討するよう、市に働きかけていく考えです。

ホツとレポート・府中

発行所：府中市議会市民フォーラム

〒183-8703 府中市宮西町2-24

市内東部地域の話は4ページに掲載

にしみや幸一
副議長の眼

6月議会 審議のポイント報告

府中市議会では、副議長は議長を補佐して議会の円滑な運営を支えることに徹すべきとの考えから、その任期期間中、議会質問の機会がかなり限られています。

一方で、副議長は市政・議会の動きを総覧できる立場でもあります。そこで、にしみや幸一の副議長任期中の当「ホットレポート・府中」は、議会論戦・市政運営のポイントを網羅的に報告する形式とさせていただきます。

委員会・委員協議会質疑から

つくれるか 有効な人口維持戦略

総務委員会の審議を経て、「府中市ひと・まち・しごと創生総合戦略推進協議会（仮称）」設置についての条例案が、全会一致で可決されました。

「総合戦略」は、2060年の人口推計を行い、それを踏まえた5か年にわたる人口減対策をまとめるもので、安倍内閣肝いりの「地方創生」政策の一環として制定された法律に基づき、市町村での策定が努力義務化されています。府中市では、本年10月ごろまでに協議会で原案をまとめ、年度内に策定させたい意向です。

国が策定期間を本年度内に区切っているために、こうした慌しいタイムスケジュールとなっています。委員会や委員協議会では、「総合戦略」策定はやむを得ないにせよ、検討スケジュールの拙速さや、策定済みの府中市第6次総合計画との整合性確保などをはじめ、多くの懸念が出されました。

府中市の人口微増傾向は、当面続くと見込まれています。「総合戦略」の検討にあたり、市では少子高齢化を睨んだ生産年齢人口（15歳以上65歳未満）の確保策などを議論したいようです。にしみや幸一は、とくに産業振興・就労支援の分野でこういった施策が打ちだれるかに注目し、必要な提言を行ってまいります。

地方税 平成27年度見直しの概要は…

毎年、国ではこまごまとした地方税法改正を実施します。平成27年度の改正法は施行済みですが、府中市議会でも関係条例改正案が、厚生委員会の審議を経て全会一致により可決されました。

目立った改正内容には、まずエコカー減税の流れを汲んだ軽自動車税の見直しがあります。平成28年3月31日までに新規取得された軽自動車のうち、排ガス性能や燃費性能の優れたものについて、

平成28年度分の税率が下げられます。

たとえば、自家用の乗用電気自動車や天然ガス自動車の税額が10,800円→2,700円に、同じく平成27年度燃費基準値より35%以上燃費性能のよい自家用の四輪乗用車で10,800円→5,400円に、という具合です。

また、ゴールドンバット・わかば・エコーなど旧3級品製造たばこの特例税率が廃止となります。平成28年から4年間かけて、他のたばこと同率になるまで、税率が段階的に引き上げます。

給食センター基本設計案 提示

5月26日の「文教委員協議会」では、平成29年2学期からの供用開始をめざす新しい府中市学校給食センター（計画地は朝日町3丁目の警察大学校東隣）の基本設計案が報告されました。

この案では、食中毒等のリスクを分散させるねらいで、調理コースを小学校4・中学校2の6コースに分けるほか、アレルギー対応食調理室を一般の調理コースから独立させて設ける、コ・ジェネレーションシステム（ガス発電などによる排熱を回収・再利用して、給湯・空調等をまかなうシステムのこと）と導入し省エネルギー化を図るといった工夫が取り入れられています。

しかし、最大22,000食を調理でき、東京都からの土地取得費を除いても概算で工事費80.6億円（消費税込み）に達する大規模な給食センター計画であることから、さまざまな懸念を感じておられる保護者の方が少なくないのが実情です。

にしみや幸一は、そうした疑問を真摯に受け止め、具体的な施設運営体制に可能な限り反映させるよう、これからも府中市に求めています。

一般質問の様子は…

こちらのアドレスから動画配信されています。各議員と府中市の論戦を、ぜひご覧ください。

<http://www.fuchu-city.stream.jfit.co.jp/>

注目! 一般質問

「公園カルテ」作成に 一步前進

にしみや幸一は、市民に最も身近な公共空間である都市公園のあり方を、たびたび一般質問で取り上げてきました。

とくにこだわって来たのは、子どもの健全な発達に対する支援と地域特性への配慮を重視しつつ、多様な機能を盛り込んだ公園づくりの推進です。

その準備として、市内公園の利用実態調査や、個別の公園ごとに現状及び課題をまとめた「公園カルテ」作成を再三要求してきましたが、市はこれまであまり前向きではありませんでした。

6月議会では、にしみや幸一のこうした問題意識を踏まえる形で、市民フォーラム所属の同僚・須山たかし議員が一般質問を行いました。

市からは、公園を長持ちさせるための補修・改修計画である「公園施設長寿命化計画」の策定すに先立ち、築30年以上の公園を対象とした「公園カルテ」をつくっていく方針が、ようやく示されました。

多くの議員提出議案が審議される

6件あった6月議会の議員提出議案は、いずれも市民・国民の関心が高く、現在の社会・政治状況を受けたテーマのものばかりでした。

安保体制への懸念の声 届かず

集団的自衛権行使の環境整備にひた走る昨今の安倍政権の動きに、懸念を示す声はますます高まっています。にしみや幸一も、平和主義を草の根から定着させたいとのスタンスで活動しています。

そこで、にしみや幸一は、安倍政権の姿勢に待ったをかける3つの安全保障関連の議員提出意見書案に、いずれも賛成しました。大半の憲法学者が違憲と指摘する「安全保障関連法案」の平成27年通常国会での成立断念を求める意見書案や、「横田基地へのオスプレイ配備計画の見直しを求める意見書」案などですが、いずれも否決となってしまいました。

とくに、横田基地の民間利用化の検討は、多摩地域の将来の発展にとって重要と考えているので、民間利用化の可能性を遠ざけかねないオスプレイ

配備見直しに反対の意見が多かったのは、大変残念です。

一致して 外国人の人権尊重を求める

「人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める陳情」が、総務委員会に付託のうえ、審議されました。

特定の民族・外国人を標的にした昨今のヘイトスピーチの常軌を逸したひどさは許されるものではなく、何らかの法的対処が必要と言わざるを得ません。

その反面、法的根拠ないままの行政裁量による規制、たとえば公共施設の使用規制などに対しては、言論活動や政治活動の自由を尊重する立場から、慎重さがあって当然です。

この点、陳情内容には議論の余地があり、各党派とも、陳情の「採択」ではなく「継続審査」を主張しました。

とはいえ、外国人の人権侵害が見過ごされてよいはずはなく、市議会全会派が共通して賛同できる内容として、「外国人の人権が十分に尊重されることを求める意見書」が改めて議員提出され、全会一致で可決されるに至りました。

なお、この意見書では、人権尊重の社会の実現や東京オリンピックの開催などを鑑み、国及び政府に対し、「外国人の人権が十分尊重されるよう、ヘイトスピーチ対策を含めた幅広い啓発活動や法的措置など、実行性のある対策を講じること」を要望しています。

綱紀粛正決議を可決

6月議会では、以下に掲げる決議を全会一致で採択しました。私にしみや幸一も、市民の皆様信頼される議会をつくりあげるべく、身を律して行動してまいります。

府中市議会における綱紀粛正に関する決議

今般、地元自治会等に現金を寄附したとして、当市議会議員が公職選挙法違反の疑いで起訴されるに至った。

このことにより、市民の代表機関である市議会の信頼を損なうところとなったことは、まことに遺憾である。

公人としての責任と自覚を改めて確認し、市議会一丸となって市民の信頼回復に努めることを確認するものである。

以上、決議する。

平成27年6月22日 府中市議会

にしみや幸一の 府中市東部地域レポート

多磨駅東側地域のこれから

にしみや幸一が委員を務める「基地等跡地対策特別委員会」（基地対）は、6月16日に開催され、西武線多磨駅東側一帯に広がる旧米軍調布基地跡地の利用に関する現状報告がありました。

その概要をお知らせします。

都市整備用地 その後の動き

イトーヨーカドーのショッピングセンター「Ario（アリオ）」の建設が予定されている、東京外国語大学北隣の「都市整備用地」4ha（朝日町3丁目）。土地を管理している財務省との売買契約締結が8月ごろとなるため、「Ario」の店舗概要などヨーカドー側の詳細な説明は、その時期以降になる見込みです。

一方、大規模開発事業への助言を行う「府中市土地利用景観調整審査会」が開いた5月21日の公聴会には、市民の皆さんから「Ario」関連で多くの意見が寄せられました。

内容的には、開発に伴う渋滞への対策や駐車場への出入り通路の取り付け場所といった、人見街道の安全性に関わる意見が目立ちます。鉄道・バスなど「Ario」への交通アクセス整備、地元となる朝日町住民とヨーカドーとの協議の場づくり、景観・デザイン面の周辺配慮なども要望されています。

にしみや幸一は、議員三期目における最重点の課題として、住民の方々と意見交換を重ねながら、「Ario」開発に派生する諸課題について地域要望を実現させるべく、持続的に、かつ粘り強く取り組んでまいります。

武蔵野の森総合スポーツ施設の進捗状況

味の素スタジアムの西隣で、「武蔵野の森総合スポーツ施設」の建設が進んでいます。当初の予定より数ヶ月程度遅れていますが、それでも開業は、メドとした平成29年度内に間に合うとのことです。

ちなみに、2020年（平成32年）の東京オリンピックでは、バドミントンと近代五種競技の一部（フェンシング）が、総合スポーツ施設で行われる予定です。さらに、フェンシング以外の近代五種や7人制ラグビーが味スタでの開催となっているほか、都立武蔵野の森公園がロードレースのゴール地点となる計画もあります。「Ario」開業とあわせ、多磨駅東側地区は発展の大きな契機を迎えています。

きめ細かい道路改良を推進

にしみや幸一は、日ごろより生活道路の改良に地道に取り組んでいます。

紅葉丘3丁目5番地付近のT字路では、交差部分の歩道がえぐれ、車止めも破損していました（右写真参照）。



にしみや幸一は、ご近所の市民の方からご指摘を受けて市に早速働きかけ、左の写真のように、路面と車止めをきれいに改修させました。

また、朝日町1丁目では、やはり市民の要望をもとに、自転車の飛出し防止サインを路面に表示させました。



にしみや幸一

（府中市議会議員 会派：市民フォーラム／
民主党東京都第18区総支部政策調査委員長）

事務所所在地 〒183-0003 東京都府中市朝日町1-4-1
電話・FAX 042-361-9579（不在の際のお問い合わせは、できればFAXで）
E-mail town_pride@jcom.home.ne.jp
ホームページ <http://www.nishimiya-koichi.net/>

